

水ときらめき紀の川館に

団体の来館者がありました



流水調整課

H28.05.23

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立和佐小学校4年生**の皆さんが見学に来られました。

駅から紀の川大堰を渡って歩いてきてくれた元気いっぱいの子供達。当事務所から流水調整課の2名が対応し、質問タイムやクイズ等にたくさんの皆さんが積極的に手を挙げてくれる姿が見られました。

五月晴れの日差しの中、時間をかけて魚道及び魚道観察室を見ていただき子供達は満面の笑みを浮かべていました。

また先生方にも、子供達も集中してお話を聞くことができました。紀の川大堰の必要性や役割についてしっかり学ぶことができよかったです、と喜んでいただけました。

団体見学概要

日時：平成28年5月20日(金)10:10 ~ 11:40

会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：61名(生徒58名、先生3名)

団体名：和歌山市立和佐小学校4年生

1. 紀の川大堰概要説明

職員がスライドを用いて紀の川や紀の川大堰の仕組み、役割などの説明。

メモをとりながら
集中して話を聞く
様子



元気いっぱい
手を挙げる皆
さん



2.館内の見学



3階展望デッキにて、目で見ながら大堰の関連施設の説明を聞く児童達。

2階操作室をガラス越しに見学。ここで大堰のゲートを動かしています。

子供達からたくさんの質問をいただき、ひとつひとつお答えする職員。



3.館外の魚道見学



あっ!アユが泳いでいるよ!!

人工河川式魚道と階段式魚道を上から見ている様子



魚道観察室にて

ここでは残念ながらアユの遡上風景は見られませんでした。



質問

Q1. (操作室前にて) たくさん機械が並んでいるけれど、もし停電になったらどうするの?

A1. 紀の川大堰では、停電に備えて大きな発電装置が設置されていますので、3~7日間程度はその装置で安全に業務を行うことができます。

Q2. 魚道にはどんな魚がいるの?

A2. 年間を通して見られるのが、ボラや鯉やチヌと呼ばれる魚です。今の時期にはアユやハゼの稚魚も見ることができます。

